

# 平成23年度 自己評価書

学校名 和歌山市立東和中学校

校長名 湯川能成

作成日 平成24年 2月 1日

## 1 教育目標

人権尊重の精神を全教育活動の基盤とした、心豊かな人間性とたくましく生きる力を持った生徒の育成

## 2 本年度の取組についての評価

|                    | 開かれた学校   | 豊かな心   | 確かな学力  | 小中連携   |
|--------------------|--|--|--|--|
| 重点<br>目標<br>P      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を積極的に発信する。</li> <li>・学校開放週間を充実させ、他との連携を図る。</li> <li>・地域の教育資源や人材を活用する。</li> <li>・保護者との信頼関係を強化する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師と生徒、生徒同士の人間関係作りに努める。</li> <li>・きめ細かい生徒指導に心掛け、体制の充実を図る。</li> <li>・道徳の時間の指導を充実させる。</li> <li>・人権・同和教育を推進し、人権意識を高める。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本のより一層の定着を推進する。</li> <li>・学力課題を明確にし指導方法の工夫改善のための研修を深める。</li> <li>・職場体験活動を推進し、主体的に将来の生き方を考え、進路選択ができるようにする。</li> <li>・特別支援教育を充実する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の教職員が、学力や指導方法についての共通した考え方に基づき、系統的、継続・発展性のある教育活動の展開を進める。</li> <li>・小中の教員相互による授業を充実させる。</li> <li>・学校行事の交流(体育的行事, 文化的行事)を進める。</li> </ul>  |
| 取組<br>の<br>状況<br>D | <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA総会時の授業参観だけでなく、学校開放月間等にも保護者や地域に授業参観を呼びかけ学校を開放する。</li> <li>・合唱コンクール、職場体験活動、校内美化活動などの学校行事を保護者だけでなく広く地域に対して呼びかけ、地域の理解と協力・参加を得ることで学校と地域が一体となった活動を展開する。</li> <li>・各種団体との懇談会を実施する。</li> <li>・毎月学年便りを発行し、多くの情報を公開する。</li> <li>・学校のホームページを随時更新しながら学校の情報を公開する。</li> <li>・総合的な学習の時間、選択教科、体験学習、道徳等において積極的に地域教材や人材を活用する。</li> <li>・気になる生徒の状況等について、きめ細かく家庭連絡を行う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員全員が協力し、昼食時や清掃時等の場を活用して、生徒理解に努める。</li> <li>・学校全体として教育相談の機会を積極的にもち生徒理解の助けとする。</li> <li>・定期的に生徒指導委員会や学年会で気になる生徒の情報交換をきめ細かく行い、対策の共通理解を図る。</li> <li>・定期的にあいさつ運動を実施し、教員も担当を決め学年を問わず交流する。</li> <li>・朝の読書活動に取り組むことにより豊かな感性と考える力を育む。</li> <li>・道徳教育推進教師を中心とし、学校の道徳教育の全体計画と道徳の時間の年間計画を作成し実行する。</li> <li>・道徳の時間はもちろん、年間を通して人権同和の学習を計画的に行う。</li> <li>・小中の教員が合同で人権・同和教育の連絡会を開催する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県教育委員会と連携をとり学力分析を行い学力課題を明確にし、授業改善の方向性を探る。また、授業改善支援等を受けながら授業力の工夫改善に努める。</li> <li>・朝の読書活動を学校全体で年間通して取り組むことにより、集中力や読解力・国語力の向上をめざす。</li> <li>・将来の進路選択ができるよう、情報提供も含め、きめ細かい指導を行う。</li> <li>・職業調べ、職場体験等、進路にかかわる学習を丁寧に行い、体験活動を取り入れる。</li> <li>・特別支援教育に係る教員の研修会の実施や個別の指導計画を作成する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員交互の授業参観や合同職員研修を実施することにより指導法の工夫をする。</li> <li>・英語の授業に小学校へ、数学の授業を中学校に、それぞれの教員が兼務し交流を図る。</li> <li>・社会科で参観授業による小中の交流を行う。・児童会と生徒会交流を図る。</li> <li>・合唱コンクールに小学校を招待することにより小中の交流を図る。</li> <li>・小中の教員が合同で人権・同和教育の連絡会を開催する。</li> <li>・スクールカウンセラーの小学校への紹介と案内をする。</li> <li>・小中職員相互により児童と生徒に係る情報の交換を積極的に行う。</li> <li>・小中連携教育の広報活動に努める。</li> </ul> |

|                           |  |  |   |   |
|---------------------------|--|--|---|---|
| <p>取組の成果と課題<br/>C</p>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA総会時の授業参観や学校開放月時の行事等は、「学校便り」やHPにて保護者だけでなく、広く地域にも呼びかけている。行事等への参加や観覧は多くあるが、授業参観者が少なく、課題を残している。</li> <li>・合唱コンクール、職場体験活動では、保護者だけでなく広く地域に対して呼びかけ、地域の理解と協力参加を得ることができた。特に、合唱コンクールでは生徒の発表だけでなく、地域の公民館活動の展示もあり、多くの方々の来校があった。</li> <li>・地域内の各種団体に構成されている「宮前地区子どもを育てる会」を本校を拠点として年間3回実施している。校区内の児童生徒の健全育成や地域の教育力向上のための方策を意見交換しながら検討できている。また、この会が学校の情報公開の場として、効果的に機能できている。</li> <li>・各学年の「学年便り」に加え、今年から月に2～3回「学校便り」を発行と行事等の度にホームページを更新することができ、学校の情報を広く公開している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談の機会を学校全体として確保することは少なかったが、昼食時や清掃時を生徒とともに過ごすことで、生徒理解に努めている。また、学年会や生徒指導委員会で情報交換をすることにより、個々の生徒に対する共通理解を図れている。</li> <li>・朝のあいさつ運動を年間を通して実施し、生徒のみならず小学生や地域の方々や気持ちよく挨拶を交わすことができている。</li> <li>・朝の読書活動に学校全体として取り組み、落ち着いた雰囲気でのスタートがされている。</li> <li>・道徳の時間を確保し、学年の実態に応じて計画的に取り組んでいる。</li> <li>・年間を通して人権同和の学習に組織的・計画的に取り組んでおり、生徒の人権意識も高い。</li> <li>・小学校における身分制度学習の授業参観、小中教員の意見交流会により、小学校の取組を基礎として中学校での人権学習の取組ができていることの確認ができた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県学力向上推進校事業、市「ことばの力」向上研究助成金事業に取り組む。</li> <li>・全国学力学習状況調査の結果の分析により、昨年度と比較して、国語力と言語に関する能力の向上が確認できた。「朝の読書活動」の成果と考える。</li> <li>・言語活動を積極的に意識した研究授業を実施することができた。学校全体の取組とするため、さらに研究を深める必要がある。</li> <li>・進路指導については、各学年で的確に計画的にきめ細かく指導できている。</li> <li>・職場体験学習では大変貴重な体験ができ、将来の進路選択の助けとすることができた。</li> <li>・通常の学級に在籍する支援が必要な生徒についてチェックリストをもとに結果を分析し、生徒理解や生徒指導の助けとすることができた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中の社会科教員の参観授業による交流、小中全教員相互の身分制度学習の授業参観による交流ができている。</li> <li>・英語の授業に小学校へ、数学TT指導に中学校へ、それぞれの教員が兼務し授業の交流ができている。</li> <li>・体育館改築工事のため、合唱コンクールを土曜日に小学校で実施したため、非常に多くの保護者や小学生、小学校教員の観覧があり、盛り上がった。</li> <li>・小中の教員が合同で人権・同和教育の連絡会を実施できている、ブロック人権教育研究会等でスムーズな運営ができている。</li> <li>・スクールカウンセラーは同じカウンセラーが小学校へも配置されたため、小中の連携がスムーズに行えた。</li> <li>・部活動を小学校で実施し、活動状況を公開している。</li> <li>・「学校便り」の小学校への配布により中学校の取組の広報活動ができた。</li> </ul> |
| <p>次年度に向けての改善方法<br/>A</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの保護者等が参観したいと思えるような魅力ある授業作りのため、指導方法の工夫改善を行う必要がある。</li> <li>・行事等に多くの保護者や地域の方が来校するために、生徒が主体性を持ち取り組む行事運営をすることが必要である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のあいさつ運動は継続できているが、日常生活の中での生徒相互や教師と生徒の自然な挨拶については、まだまだ課題を残している。</li> <li>・朝の読書活動は定着したが、それが生徒の豊かな心の育成にどのように作用できているのか検証する必要がある。</li> <li>・道徳の時間に体験活動等を取り入れるなど、生徒の心に響くような教材の開発や指導方法の工夫改善が必要である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の読書活動と国語力の向上については引き続き、検証していく。</li> <li>・授業力向上のため、校内研修を充実させる必要がある。</li> <li>・基礎的な計算力を高める取組が必要である。</li> <li>・学習習慣を身につけさせるため、学校全体として家庭学習の課題を与えることに取り組む必要がある。</li> <li>・発達障害についての研修を深め、具体的な支援の方法について検討し、共通理解を図りながら取り組む必要がある。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中教員相互の授業交流を継続していく。</li> <li>・小中教員がそれぞれ兼務して授業を行うことを継続実施する。</li> <li>・児童生徒に関する情報交換を積極的に進め、生徒理解や生徒指導に反映させていく。</li> <li>・小中連携で行事やPTA活動の広報活動をより積極的に行う。</li> <li>・児童会と生徒会の交流が進んでいない。次年度に向けての課題である。</li> </ul>  |

### 3 その他の課題

#### ①生徒指導の充実

- ・道徳の時間を充実させ、豊かな心の育成に努める。
- ・他律から自律に向けて生徒の自主活動を意識した学校や学年の行事の計画と実施を行う。
- ・生徒理解に努め、教師と生徒・保護者との信頼関係の築き、全ての教育活動を通してきめ細かな指導の実践を行う。
- ・全教職員が一致協力し、一貫した粘り強い指導を行うため、報告・連絡・相談・確認を密にとり、共通理解を図る。
- ・粘り強く熱意ある指導と生徒の心に寄り添う指導の実践を行う。
- ・問題行動には、素早く、機敏に、その日の内に「教育は今日行く」を合い言葉に取り組む。
- ・地域及び関係機関との連絡を密にとり連携協力を努める。

#### ②学力向上の推進

- ・言語に関する能力を高めるための授業の工夫・改善に努める。
- ・主体的に学習に取り組む態度を育成するため教材等の工夫・改善に努める。
- ・家庭学習の習慣化のための課題の与え方を検討する。
- ・「朝の読書活動」の充実と、読書習慣の定着を図る。

#### ③特別支援教育の充実

- ・発達障害（LD，ADHD，高機能自閉症等）を含めて障害ある生徒一人ひとりの実態を把握し、それらの生徒への指導と保護者との連携について、全教職員の理解を図るとも校内研修を充実させる。
- ・保護者や関係機関と連携し、支援を必要とする生徒の個別の指導計画の作成を行い、その具体化を図る。

#### ④組織運営の充実

- ・校務分掌、各委員会の見直しと点検を行い、組織の活性化と調和のとれた学校運営ができるような校務分掌組織を整える。

#### ⑤情報セキュリティポリシーの実施

- ・情報セキュリティポリシーについての理解と推進力を充実させる。
- ・情報セキュリティの維持・向上、ポリシーの周知徹底、緊急時の対応などに関し、具体的な取り組みを実施する。